

東日本 APM ニュース

ASSOCIATION OF PLASTICS MOLDERS, EAST JAPAN

第541号 2023. 6/28

一般社団法人 東日本プラスチック製品工業協会
 東京都中央区築地3-12-5 築地小山ビル TEL 03(3541)4321
 URL:http://www.ejp.or.jp FAX 03(3541)4324
 発行人 八尋 一恭

目 次

第55回通常総会が開催されました…………… 1	ChatGPT …………… 7
事務局レポート…………… 4	

第55回通常総会が開催されました

情報を最大限に活用しイノベーションを実現していく
 ～プラスチック業界の更なる発展に向けて～



住田会長挨拶

令和5年5月18日（木）初夏を思わせる強い日差しと濃い緑のもと、上野精養軒において当工業協会の第55回通常総会が開催されました。当日は、正会員、賛助会員の皆様はじめ大勢のご来賓、関連業界団体の皆様方にも出席いただきました。

議案は以下の通りでした。

- 第1号議案 令和4年度 事業報告承認の件
- 第2号議案 令和4年度 決算報告承認の件
- 第3号議案 令和5年度 事業計画（案）審議の件
- 第4号議案 令和5年度 収支予算（案）審議の件
- 第5号議案 役員の一部就任、退任の件

上記議案は、全て原案通り承認され、無事終了しました。

令和5年度の事業計画では、まず「SDGsを意識した事業の推進」を重点事業の冒頭に掲げ、①カーボンニュートラルを実現するための仕組みづくり②海洋プラスチック問題への真摯な取り組み③技能検定・能力開発事業の推進による質の高い教育に取り組むこととしました。



総会の様子

総会後に開催された懇親会において、住田会長は以下の通りご挨拶を申し上げます。

『本日はお忙しい中、当協会の総会並びに懇親会に関東経済産業局 産業部担当次長小澤元樹様をはじめ、業界関連団体及び会員各位皆様方の大勢の出席を賜り、心より感謝と御礼を申し上げます。

先ほども申しましたが、新型コロナウイルス感染症の影響により、この3年余り行動制限を余儀なくされてきました。5月8日から感染症対応が、現在の2類相当から5類へと移行し、行動制限も大幅に緩和され、徐々に通常の生活に戻りつつあります。ですが、2020年下半期からの半導体などの価格上昇が進み、重ねてロシアのウクライナ侵攻に伴う世界のエネルギー情勢は混乱を深め、電力会社の値上げも政府に了承されました。日本の製造業に対しての逆風は一過性のものにとどまらない深刻な状況に直面しております。

また、プラスチックに関連する問題として、海洋プラスチック問題に起因する脱プラスチックという動きも数年前から活発化しております。近年の脱プラはいつから始まったのでしょうか？2018年に脱プラ運動が盛り上がるなか、先進7カ国（G7）で「海洋プラスチック憲章」が採択されました。起点となる“事件”はそれより3年前の2015年に起きました。1匹のウミガメの鼻にストローが突き刺さり、苦しそうにしている衝撃的動画が瞬く間に世界を駆け巡り、大々的な脱プラ運動を引き起こしました。この動画がプラスチックを取り巻く環境を様変わりさせたと言われています。

皆さんは「ストロー発祥の地」というのをご存じでしょうか？ 岡山県浅口市（あさくちし）の寄島町（よりしまちょう）が発祥と言われています。この浅口市にあるシバセ工業さんの記事がありましたので、紹介したいと思います。ウミガメの動画から3年、2018年に入って脱プラ運動は加速し、スターバックスコーヒーやウォルト・ディズニー、マクドナルドなどが相次ぎプラスチックストローの廃止を決定しました。脱プラの象徴として紙ストローに注目が集まると、シバセ工業さんにも「紙ストローはありませんか？」という問い合わせが増えましたが、「うちはプラスチックストローだけです。紙ストローがご要望なら他社を探してください」と言い、会社としての基本方針を貫いたそうです。しかし翌年になると紙ストローの問い合わせは一切なくなり、多くの顧客が「紙ストローは高コストで採算が取れない」と言って戻ってきたばかりか、タピオカティーが

ブームになり、タピオカストローの需要が急増したため、プラスチックストローの販売が逆に大きく伸びたそうです。サイズも様々で、成形するエネルギー源に太陽光を利用するなど様々な工夫をしたそうです。その後、「工業用ストロー」や「医療用ストロー」といった新分野を作り出し、新型コロナ感染を診断するためのPCR検査用ストローへと発展させていきます。PCRの機会もめっきり減りましたが、工業用・医療用ストローとしての用途は多いそうです。シバセ工業さんの場合、徹底的に薄肉パイプに特化した多品種・少量生産のシステム構築と顧客の要望に応える技術力がイノベーションであり、医薬品参入の足掛かりであったと言えます。イノベーションは日本語で「技術革新」と訳されることが多く、新たな価値の創造を意味します。いまご紹介した記事内容は本当に上辺だけですが、このようなイノベーションを、会員の皆さんが考え行動し、補助金等を最大限活用し設備投資を行い好循環させていく事が、会員企業の発展だけでなく、プラスチック業界の更なる発展となると私は信じております。その為にはアンテナを張り、国をはじめ、都や県が公募している補助金や樹脂業界の動向等、様々な情報をキャッチし、その情報を最大限活用して活用して頂くことが必要だと思います。そのきっかけとなる様々な情報を発信し続ける事も、東日本プラスチック製品工業協会の重要な役目と考えており取り組んでまいりますので、皆様のご協力をお願いしたいと思います。

最後になりましたが、皆様方の今後のますますの御活躍を祈念いたしまして、簡単ではございますが、ご挨拶とさせていただきます。』



挨拶する住田会長

ご来賓からは、代表して関東経済産業局産業部担当次長の小澤元樹様より、お祝いと激励さらに令和5年度施策等について下記のご挨拶をいただきました。

『只今、ご紹介をいただきました経済産業省関

東経済産業局産業部次長の小澤でございます。本日は東日本プラスチック製品工業協会通常総会にお招きいただき、誠にありがとうございます。また、本日ご列席の皆様方におかれましては、日頃より、経済産業行政に多大なるご理解とご協力をいただきまして、重ねて御礼申し上げます。

さて、新型コロナウイルス感染症が2類相当から5類に移行し、各地では日常回帰への兆しが見え、各地において街の賑わいも戻ってまいりました。しかしながら、エネルギー・原材料価格をはじめとした物価の高騰により、製造業を取り巻く事業環境は予断を許さない状況が続いております。

このような状況の中、経済産業省では、コロナ禍を経て事業環境が一変した地域の皆様に最大限寄り添い、特に、成長と分配の好循環の鍵となる中小企業の皆様の賃上げの実現に向けて、大きく二つのことに取り組んでおります。

一つ目は、グリーンやデジタルなど新分野への展開や生産性向上につながる取組みに対する支援です。このような取組みに果敢にチャレンジする中小企業の皆様の事業再構築補助金や生産性革命推進事業などで支援いたします。また、自動車の電動化で影響を受けるサプライヤーの皆様が、電動化部品への製造に挑戦する取組みを支援する「ミカタプロジェクト」、新たに輸出に挑戦する事業者の皆様を支援する「新規輸出1万社支援プログラム」もその一環です。

二つ目は、下請取引の適正化とサプライチェーン全体で価格転嫁できる環境の整備です。大企業と中小企業が連携して高い付加価値を生み出し、それに見合った適切な利益を享受できるよう、パートナーシップ構築宣言の拡大など、取引適正化に向けた取組みを官民連携して進めてまいります。

これらの様々の政策について、個後に取り組むだけでは、企業や地域が抱える本質的な課題に十分に答えられません。当局では、地域の事業者の皆様の声にしっかりと耳を傾けるとともに、様々なステークホルダーの皆様と力を合わせ、人材、知識、ノウハウを総動員しながら政策イノベーションの実施にチャレンジして参ります

結びに、東日本プラスチック製品工業協会の益々の発展と、本日ご臨席の皆様のご多幸とご健勝を祈念いたしまして、私からのご挨拶とさせていただきます。本日は、誠にありがとうございます。』

続いて、全日本プラスチック製品工業連合会の大野泰昭会長様の乾杯のご発声により祝宴が始まりました。



来賓関東経済産業局小澤次長様



大野全日本連合会会長様



懇親会の様子

会場では、参加いただいた多くのご来賓、会員の皆様方による情報交換の輪が出来ました。18時20分、今回新たに副会長に就任した原田裕司副会長の中締め挨拶と一本締めでお開きとなりました。



中締め・原田副会長

事務局レポート

1. 事務局からのお願いとお知らせ (ホームページが新しくなりました)

皆さんお気づきでしょうか。昨年末に当工業協会のホームページを一新いたしました。

(主な改善内容)

①画面を見やすくし、スマートフォンでアクセスしても見やすいようにしました。

画面を明るくし、また、最近ではスマートフォンでアクセスする方が増えつつあることから、スマートフォンでも見やすいようなホームページといたしました。

②事務局でフレキシブルに登録内容の変更ができるようにする。

これまではホームページのデータを変更する際、多くの項目について業者に修正を依頼する必要があり、修正に時間がかかっていました。

③当工業協会でのいろいろな条件検索ができるようにしました。

これからは3地区の工業協会それぞれデータ検索ができるようにしました。

④URLを“https://”に修正しました。

これにより安全なサイトとなり、安心して検索いただけるようになりました。

(事務局からのお願い)

ぜひ一度当工業協会ホームページ内のご自分の会社の登録内容をご確認ください。以前のホームページから自動的に移行していますため、古いデータや間違ったデータが掲載されている可能性があります。

⇒データの修正が必要な場合は、

①当協会ホームページのトップページの上段の左から5番目の「会員情報」をクリックしてください。

②次に、そのページ内の「会員情報修正依頼フォーム」をクリックしてください。

③「会員情報修正依頼」という画面が表示されますので、必須項目と修正項目を入力してください。

④最後に一番下の「送信」をクリックしてください。

操作方法等がご不明の場合は、FAXにより修正のご依頼をいただいてもかまいません。

何かご不明な点やお分かりにならない点がありましたら、事務局までお電話でお問合せください。

(お問合せ先：TEL03-3541-4321)

2. 新規会員のご紹介

今回、当工業協会の新しく賛助会員となられました企業様をご紹介します。どうぞ皆様と末長いお付き合いをよろしくお願いいたします。また、取扱製品等にご興味のある方は企業様に直接お問い合わせいただくか、協会事務局にお問合せください。

株式会社 アート・デコール社 様

(東京都あきる野市)

弊社はリサイクルプラスチック原料の仕入・販売を、東京都あきる野市で24年間営んでおります。昨今の環境問題においてプラスチックの処理が世界的な課題となっておりますが、弊社は産業廃棄物処理を減らしリサイクルを推進していくことで、SDGsやカーボンニュートラルの面から社会貢献・協会発展に尽力して参ります。

産業廃棄物として処理されているプラスチック材がございましたら、是非一度お問合せください。何卒宜しくお願い申し上げます。

3. 第55回 通常総会議事録

1. 日時 令和5年5月18日(木)
16時～16時50分

2. 場所 上野精養軒 3階 桜の間
東京都台東区上野公園4番58号
電話03-3821-2181

3. 出席者

出席正会員 102名(うち委任状70名)
正会員総数 168名

定刻、山下副会長の司会により、一般社団法人東日本プラスチック製品工業協会 第55回通常総

会の開会が宣言された。住田会長の挨拶に続いて、司会より、本総会出席会員の定足数は過半数を超えており、一般社団法人定款第18条の規定により本会が有効に成立している旨の報告がなされた。次に、定款第16条の規定により会長が本総会の議長の任に当たる旨を説明し、異議なく全会一致で承認された後、住田会長が議長席に就いた。

4. 議事録署名人

議長より定款第20条の規程により、議事録には議長の記名押印のみで済むため、他の署名人の選出はない旨を説明し、了承された。

5. 議事

第1号議案 令和4年度事業報告承認の件

第2号議案 令和4年度決算報告承認の件

議長より、第1号、第2号議案は関連があることから一括して説明をお願いしたい旨を議場に諮り、了承を得た。

上村副会長より、総会資料に基づいて、会員の状況ならびに会議の開催、個別事業について及び支部会開催状況等の報告をし、さらに令和4年度の貸借対照表、財産目録、正味財産増減計算書等について説明をした。

続いて、野邊弘一郎 監事が以下のとおり監査意見を述べた。

「去る5月9日、当工業協会事務所において、3名の監事にて令和4年度の事業報告、計算書類、これら附属明細書について監査を行いました。監査の結果につきましては、法令及び定款に従い、計算書類並びに財産目録等が適正に処理がなされている」旨。

議長より、第1号、2号議案の承認可否について、議場に諮ったところ異議なく全会一致で承認された。

第3号議案 令和5年度事業計画(案)審議の件

第4号議案 令和5年度収支予算(案)審議の件

議長は、第3号、第4号議案について、関連があることから一括して説明をお願いする旨の了承を得た後、上村副会長が以下の通り説明した。

令和5年度事業計画(案)については、「昨年4月に『プラスチック資源循環促進法』が施行されたこともあり、今年度も令和4年度に引き続き重点事業としてSDGs(エスディーゼズ)(事業可能な開発目標)を意識した事業の推進を冒頭に掲げた。今後ますます私たちプラスチック業界もさらに環境に配慮しながら対応していく必要がある。また、こうした状況を取り切るため、官公庁他から有効な情報を収集し、

会員の皆様に発信するとともに、皆様の様々なご意見を行政に的確に伝えていくことが重要であると考えている。令和4年度は関東経済産業局様とJPO(青年経営研究会)との間でBCP(事業継続計画)の勉強会を開催したり、関東経済産業局と経済産業省中小企業庁の方々と同協会の正副会長と専務理事で電気料金の高騰について意見交換を行った。令和5年度もこうした積極的な取組みを図るべく事業計画を策定した。」旨の説明が行われた。

続いて、令和5年度収支予算案の事業総額、88,246,244円の内訳について総会資料に基づき一般会計の大科目毎に説明が行われた。また、科目の詳細と部会別会計(部会・委員会)については、ご一読願うことで了承を得た。

議長より、第3号、第4号議案の可否を議場に諮ったところ、原案どおり全会一致で承認された。

第5号議案 役員の一部退任、就任の件

議長より以下説明した。

「今年は改選の年ではないが、佐藤義明理事から退任の意向があったため、後任として秋野勝彦氏を新たに選任する。」旨

議長より、第5号議案の承認可否について、議場に諮ったところ異議なく全会一致で承認された。

16時50分、議長は、以上をもって第55回の通常総会の議案が終了したことを宣した。

4. 第403回 理事会議事録

1. 日 時 令和5年5月18日(木)

14時~14時45分

2. 場 所 上野精養軒 3階「菊の間」

東京都台東区上野公園4-58

電話03-3821-2181

3. 出席者

住田 嘉久	肥後 武展	上村 俊彦
山下慎一郎	大野 泰昭	村口 公浩
嶋田 修二	内藤 隆夫	平塚 隆文
伊藤 宏使	曾我部 大	原田 裕司
植田 好司	河合 清美	佐藤 昭
滝口 裕	福田 晴通	腰越 稔
関根 忠	内山 三男	長谷川矩之
八尋 一恭		

以上出席理事22名(理事総数35名)

野邊弘一郎 谷 和雄

以上監事2名

4. 住田会長ご挨拶

本日はお忙しいところ第403回の理事会にお集まりいただき有難うございます。本日は、コロナが5類へと移行し、初めての会員の皆様が集まったの総会と懇親会になります。季節外れの陽気で、体も暑さに慣れていない方々も多いと思います。体調管理には十分気を付けて頂き、長丁場ですが、皆様よろしくお願ひいたします。

気温が上昇、上昇というキーワードで調べると、5月では株価、電気代、物価、資源、原材料、賃金、ドル、ユーロ、都心のマンション、インフルエンザ、はしか、海面等が出てきました。上昇してほしくないキーワードも多く含まれています。この中に景気や設備投資、金利等のキーワードが登場するのはもう少し先でしょうか？

上昇に対する備えとして協会では情報発信を強化していきたいと考えています。前回の理事会で賛助会員の勉強会を始めました。反応を聞いておりませんが、続けていきたいと思ひます。

最後になりましたが、本日も円滑な進行をお願ひしまして簡単ですが、ご挨拶に代えさせていただきます。

5. 専務理事より定数の報告

事務局より理事数35名のうち出席理事は22名であり、定款第33条の規程により過半数の理事の出席があり、本理事会が有効に成立している旨の報告がなされた。

6. 議長選出

定款第30条の規程により会長が議長に選出された。

7. 議事録署名人

議長は、定款第34条により、同人と出席の野邊監事・谷監事に記名捺印をお願ひし、了承された。

8. 議 事

議題1. 経過報告(前回理事会以降の主要行事)

以下専務理事から説明を行った。

(1) 役員会等の開催

4月20日 第402回理事会

銀座フェニックスプラザ

(2) 部会・委員会の開催

①製品技術部会

5月12日 通常総会

銀座フェニックスプラザ

以上議題1について諮ったところ特に異議なく了承された。

議題2. 会員の入会・退会承認の件

以下専務理事から説明を行った。

(1) 入会の部

なし。

(2) 退会の部

なし。

(3) 会員の増減

	正会員	賛助会員	計	団体会員
前 回	160社	65社	225社	7 団体
増 加	0社	0社	0社	0
減 少	0社	0社	0社	0

現 在 160社 65社 225社 7 団体

※現在、技能士会会員のシンエイカラー(株)から入会の意向有り。

以上議題2について諮ったところ特に異議なく了承された。

議題3. 本日の通常総会の件

以下専務理事から説明を行った。

出席状況

本日のスケジュールと役割分担

以上議題3について諮ったところ特に異議なく了承された。

議題4. 副会長の選任について

以下専務理事から説明を行った。

協会運営体制の強化を図るため、原田裕司理事を副会長に選任する。

以上議題4について諮ったところ特に異議なく了承された。

【その他報告事項】

以下の項目につき専務理事から説明を行った。

① IPF からのお知らせ

9月5日からイタリアのミラノでプラスチック展示会開催

② 製品技術部会資料

大同特殊鋼講演資料

③ 電力需給について

将来の電力需給に関する在り方についての勉強会資料

④ 金型メンテナンスに対する提案

(株)プラモール精工からの提案

以上その他報告事項について、異議なく了承された。

以上予定議案が終了し、議長は14時45分、閉会を宣した。



今や話題を耳にしない日がないと言えるほど、驚くべき進化を遂げ、かつ日々改良を続けている ChatGPT (チャット GPT) について紹介する。

◆人工知能 (Artificial Intelligence) の 1 種に「生成 AI」(Generative Artificial Intelligence) があり、これは「機械学習」の手法の 1 つである。

「生成 AI」では、チャット形式の画面上で英語や日本語などの自然言語で質問すると、それらの質問に自然言語、画像、または音声で回答が返ってくる。すなわち、これは単純な従来の AI の性能アップと異なり、AI 自身がコンテンツを自ら生み出す革新的な性能を備えている。これを利用することで、日常業務・学問・研究・芸術等の各種分野で著しい効率化が期待される。

◆米国 OpenAI (オープン AI) が 2022 年 11 月公開し、そのうちマイクロソフト (Microsoft) 社の Bing に組み込まれた「ChatGPT」(チャット GPT) を筆頭に、グーグル (Google) の「Bard」や、アマゾン (Amazon)、NTT、NEC 等の IT 企業や多くの研究機関が次々と「生成 AI」を発表している。

*オープン AI は、人工知能 (AI) を研究する非営利団体として 2015 年に設立され、2019 年には営利企業「OpenAI LP」を設立した、

◆その中で、ChatGPT が注目されるのは、人のように自然なやりとりで質問に答える性能と、2022 年 11 月 30 日の公開から 5 日で 100 万人が利用し、わずか 2 カ月で月間利用者数が 1 億人に達したその有効性にある。例えば 1 億人のユーザー獲得には動画共有アプリ「TikTok」で 9 カ月、写真共有アプリ「インスタグラム」で 28 カ月を要している。また 2023 年 5 月から米国でスマートフォンアプリ (iOS 版) を投入、日本でも同月下旬にアプリを公開している。

◆「生成 AI」と従来の Google や Yahoo 等の「検索」との違い:「検索」は、あらかじめ用意された「辞書」や「百科事典」があり、ユーザーはその辞書をひも解いて、求める「回答」を得る。

一方、「生成 AI」は、膨大な量の「単語」や「文章データ」、「会話データ」をメモリーに記憶させておき、AI がユーザーの「質問」に最適と判断する「回答」を提示する。

ユーザーは、提示された回答が不十分と思えば、追加の「関連質問」を行い、「質問」を繰り返すことにより、モデルの精度が向上し、希望する「回答」により近づく「対話型」言語モデルである。

OpenAI が 2020 年に開発し、ChatGPT のベースになった「GPT-3」のパラメータ数は 1750 億、パラメータ数の多いモデルは幅広い知識を身につけられるが、

後述の様に設備投資額と運用コストが膨大となる、NTT が 6 月 9 日発表したモデルは、利用対象を金融や医療にしぼり、ユーザーも企業向けに限定して、パラメータ数も「GPT-3」の 10 分の 1 程度としている。

◆生成 AI の活用領域:

コンテンツ作成、すなわち音楽、小説、脚本、詩、歌詞や作文などの創作活動、単語ならびに他言語文章の翻訳、カスタマーサービスにおける質問への回答、コンピュータプログラム中のバグの発見、などがある。

生成 AI が既存の AI と決定的に異なる点は、AI 自身がコンテンツを生成できることであり、これまで人間にしかできないとされていた「考える行為」を AI で実現できるようになったことである。

人間が生み出すアイデアには、個人の思惑や先入感が混在することが多々あり、革新的とまではいかない安易なアイデアに落ち着いてしまうことも多い。「生成 AI」は既存のアイデアに捉われない独創性を発揮する可能性がある。

◆生成 AI の問題点:

生成 AI の優れた能力は逆に多くの問題点を含んでおり、その対策は検討が開始されたばかりと言える。

- *間違った回答を出す、…参照するデータが非常に多いことにより間違いが混入する可能性が生じ、かつ回答を検証する手段を現状持たない。
- *参照データから、個人情報、機密情報が拡散する可能性がある、
- *各種の詐欺、試験・入試・論文作成に悪用される可能性がある、
- *参照データに対して、データ保有者の特許権、データ発掘権を保証する仕組みが未確立、
- *政府や運用者の意思によって、差別、大量破壊、制御不能な軍事的応用をもたらす可能性もある。

上記の諸問題とは異なる観点ではあるが、生成 AI の「運用コスト」と「環境負荷」も検討・対策を要する。

すなわち ChatGPT を手がけるオープン AI の 2022 年の赤字幅は 5 億 4000 万ドル (約 750 億円) に上っている。開発投資が先行するほか、AI 開発に欠かせない高性能半導体の確保、膨大な計算を行うコンピュータの電気代、サーバーの使用料などが膨らんでいる。また環境負荷も大きい、米大教授やグーグルの研究者らは 2021 年の論文で、オープン AI の基盤である「GPT-3」の訓練だけで 1287 メガワット時のエネルギーが必要だったと推定している。米国の平均的な家庭 120 世帯の 1 年間の電力消費量に匹敵する。世界中で生成 AI の利用が急増するなか、運用時も含めた電力消費や二酸化炭素排出が増加する可能性がある。

出展: 2023.6.9 日経電子版、日経クロステック IT メール ChatGPT 特設サイト 等

(案山子)



2023年4月1日、ムラテック販売は
ムラテックフロンティアへ社名変更いたしました



ムラテック販売
は
ムラテックフロンティアへ

はたらく・つくるの
明日をひらく

ひとは、はたらく。
ひとは、つくる。

いかにはたらき、いかにつくるか。
どこまでも進化しつづけるその課題に、
私たちは、現場に寄り添いながら
答えを出していきます。

かつては革新的だった進化が
今はオフィスや工場の常識になったように、
はたらく・つくるの場は、
ベストフィットするソリューションによって
きっともっとよりよくできる。

次なる時代のはたらきかた、つくりかたへ。
いつもそこにいるパートナーとして
はたらく・つくるの未来を拓いていく。
私たちは、ムラテックフロンティアです。

成形業の業務効率を最適化する
ムラテックの生産管理システム

成形業統合生産管理システム

GMICS[®]

成形工場生産管理システム

MICS7

はたらく・つくるの明日をひらく
ムラテックフロンティア株式会社

<https://www.muratec.jp/fs/>

ファクトリーソリューション営業部

- 東日本支店 / 埼玉県さいたま市大宮区宮町4丁目85-1 〒330-0802
TEL 048(649)6139 FAX 048(647)9446
- 中部支店 / 愛知県犬山市橋爪中島2 〒484-8502
TEL 0568(63)2311 FAX 0568(63)5779
- 西日本支店 / 京都市伏見区竹田向代町136 〒612-8686
TEL 075(672)8257 FAX 075(672)8390